

三芳地区学校再編に関わるPTA役員説明会
資料等

「南房総市立幼稚園及び小中学校再編計画」

平成20年3月

南房総市教育委員会

らは困難が想定されますので、地域性に配慮した区域を考慮する必要があります。

これらにおいても、文部科学省の示した限度を超えた距離の、学校再編が想定されることから、学校再編にあたって遠距離通学となる児童生徒については、生活リズムや、教育活動に与える影響を考慮し、次のように幼稚園・小学校の配置と、中学校の配置を行います。

[幼稚園、小学校、中学校の通園・通学区域]

①幼稚園・小学校配置計画

幼稚園・小学校の再編基準としては、地域的なつながりが深く、また学校間の様々な交流も頻繁に行われる、現在の中学校区内の幼稚園、小学校での再編とすることを基準とします。

地区名	小学校	幼稚園	小学校再編計画	幼稚園再編計画
富浦地区	富浦小学校 八束小学校	富浦幼稚園	2校を1校に再編	現行どおり
富山地区	岩井小学校 平群小学校	岩井幼稚園 平群幼稚園	2校を1校に再編	2園を1園に再編
三芳地区	三芳小学校	三芳幼稚園	現行どおり	現行どおり
白浜地区	長尾小学校 白浜小学校	長尾幼稚園 白浜幼稚園	2校を1校に再編	2園を1園に再編
千倉地区	七浦小学校 忽戸小学校 朝夷小学校 健田小学校	七浦幼稚園 忽戸幼稚園 朝夷幼稚園 健田幼稚園	4校を2校に再編	4園を2園に再編
丸山地区	南小学校 丸小学校	南幼稚園 丸幼稚園	2校を1校に再編	2園を1園に再編
和田地区	和田小学校 南三原小学校	和田幼稚園 南三原幼稚園	2校を1校に再編	2園を1園に再編

②中学校配置計画

南房総市における中学校の適正規模を検討した場合、将来的には千倉中学校以外の6中学校は、全て基準以下となることから、地理的要件を考えれば、7中学校全てが再編に関連します。

しかし、小学校ほど学校行事や社会教育・社会体育事業での交流が実施されているとは言えず、地区間の一体性も小学校より緩やかなものとなっています。さらに、南房総市を取り巻く社会情勢の変化などにより、中学校区のあり方を、再度考慮する必要性が発生することも考えられます。

これらを考慮したうえで、今後の社会情勢の変化に柔軟に対応しながら、学校数をおおむね2分の1程度にする再編を図ります。

4. 一貫教育

現在、本市においては、保育所、幼稚園、小学校及び中学校においては、様々な研究事業等に積極的に取り組んでおり、保育所と幼稚園の一元化や、一貫教育カリキュラムの研究として、連携に関する研究事業を行ってきております。

また、小学校と中学校や、更には高等学校との連携に関する新たな調査研究事業を検討し、モデル事業の展開を図っていきます。

今後は、社会情勢の変化による多様な教育環境に対応するため、地域に根ざしたより良い教育環境整備のため、研究事業等に積極的に取り組んでいきます。

南房総市立幼稚園及び小中学校再編計画

平成20年 3 月策定

平成23年 1 2月改正

南房総市教育委員会

[幼稚園、小学校、中学校の通園・通学区域]

①幼稚園・小学校配置計画

幼稚園・小学校の再編基準としては、地域的なつながりが深く、また学校間の様々な交流も頻繁に行われる、中学校区内の小学校で再編することを基準とします。

地区名	小学校	幼稚園	小学校再編	幼稚園再編
富浦地区	富浦小学校	富浦幼稚園	現行どおり	幼保一体運営を目指す
富山地区	岩井小学校 平群小学校	岩井幼稚園 平群幼稚園	1校に再編	1園に再編し、幼保一体運営を検討する
三芳地区	三芳小学校	三芳幼稚園	現行どおり	幼保一体運営を目指す
白浜地区	白浜小学校	白浜幼稚園	現行どおり	幼保一体運営を検討する
千倉地区	七浦小学校 忽戸小学校 朝夷小学校 健田小学校	七浦幼稚園 忽戸幼稚園 朝夷幼稚園 健田幼稚園	4校を半数以下に再編	4園を半数以下に再編し、幼保一体運営を検討する
丸山地区	南小学校 丸小学校	南幼稚園 丸幼稚園	4校を半数以下に再編	4園を半数以下に再編し、幼保一体運営を目指す
和田地区	和田小学校 南三原小学校	和田幼稚園 南三原幼稚園		

②中学校配置計画

平成23年度から実施している千倉・丸山・和田地区の小学校再編と併せて、この3地区内での学校再編を推進します。

また富浦、富山、三芳、白浜地区においては、今後の社会情勢の変化に柔軟に対応しながら、小中一貫教育の推進と併せて中学校再編を検討し、実施可能な地区においては中学校再編を推進します。

4. 一貫教育及び幼保一体化

現在、本市においては、保育所、幼稚園、小学校及び中学校で、様々な研究事業等に積極的に取り組んでおり、保育所と幼稚園の一体化や、一貫教育についての各種研究事業を行ってきております。

今後の取り組みとして、富山地区では、学校建設に併せ一貫教育実施を推進し、三芳地区では、これまでの研究成果を基に連携型一貫教育を推進します。富浦、白浜、千倉、丸山、和田地区においては更に研究を進め、より良い教育環境整備を目指し、地域の特色にあった一貫教育を推進します。

また幼保一体化は、南房総市幼稚園・保育所等再編計画を踏まえ、地域の状況に応じた検討を進め、幼保一体化運営に向け推進します。

南房総市立中学校生徒数 推移見込み (令和5年度～令和17年度)

令和5年5月1日 現在

中学校名 該当学区		未就学児数						児童数内訳						令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度			令和9年度			令和10年度			令和11年度			令和12年度			令和13年度			令和14年度			令和15年度			令和16年度			令和17年度		
		1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	小1	小2	小3	小4	小5	小6	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年															
富浦中学校	富浦小学校	18	16	13	15	10	18	16	24	28	35	39	27	34	35	35	27	34	35	39	27	34	35	39	27	28	35	39	24	28	35	16	24	28	18	16	24	10	18	16	15	10	18	13	15	10	16	13	15	18	16	13
	小計	18	16	13	15	10	18	16	24	28	35	39	27	104	96	100	101	102	87	68	58	44	43	38	44	47																										
富山中学校	富山小学校	15	7	13	14	15	23	24	37	29	36	34	28	30	33	37	28	30	33	34	28	30	36	34	28	29	36	34	37	29	36	24	37	29	23	24	37	15	23	24	14	15	23	13	14	15	7	13	14	15	7	13
	小計	15	7	13	14	15	23	24	37	29	36	34	28	100	91	92	98	99	102	90	84	62	52	42	34	35																										
三芳中学校	三芳小学校	18	18	20	13	27	28	32	32	32	31	38	32	30	26	38	32	30	31	38	32	32	31	38	32	32	31	32	32	32	32	32	32	28	32	32	27	28	32	13	27	28	20	13	27	18	20	13	18	18	20	
	小計	18	18	20	13	27	28	32	32	32	31	38	88	100	101	101	95	96	96	92	87	68	60	51	56																											
白浜中学校	白浜小学校	5	5	12	12	9	20	12	12	14	14	16	17	16	16	18	17	16	16	16	17	16	14	16	17	14	14	16	12	14	14	12	12	14	20	12	12	9	20	12	12	9	20	12	12	9	5	12	12	5	5	12
	小計	5	5	12	12	9	20	12	12	14	14	16	17	50	49	49	47	44	40	38	44	41	41	33	29	22																										
千倉中学校	千倉小学校	18	32	24	42	30	43	56	42	53	51	55	54	52	58	75	54	52	58	55	54	52	51	55	54	53	51	55	42	53	51	56	42	53	43	56	42	30	43	56	42	30	43	24	42	30	32	24	42	18	32	24
	小計	18	32	24	42	30	43	56	42	53	51	55	54	185	164	161	160	159	146	151	141	129	115	96	98	74																										
嶺南中学校	嶺南小学校	22	18	29	35	39	23	45	46	54	45	54	43	60	50	47	43	60	50	54	43	60	45	54	43	54	45	54	46	54	45	45	46	54	23	45	46	39	23	45	35	39	23	29	35	39	18	29	35	22	18	29
	小計	22	18	29	35	39	23	45	46	54	45	54	43	157	153	157	142	153	145	145	114	107	97	103	82	69																										
合計		96	96	111	131	130	155	185	193	210	213	229	207	684	653	660	649	652	616	588	533	470	416	372	303																											

※特別支援学級の生徒は、現学年に含む。

令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度			令和9年度			令和10年度			令和11年度			令和12年度			令和13年度			令和14年度			令和15年度			令和16年度			令和17年度		
1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年												
224	222	238	207	224	222	229	207	224	213	229	207	210	213	229	193	210	213	185	193	210	155	185	193	130	155	185	131	130	155	111	131	130	96	111	131	96	96	111

三芳地区学校再編に関わるPTA役員説明会の意見等について

I. 開催概要

開催日時 令和6年3月14日（木）午後7時から

開催場所 三芳小学校会議室

参加者 三芳小学校新・旧PTA役員、三芳中学校新・旧PTA役員

II. 御意見・御質問

1 三芳小学校も三芳中学校もいろいろ耐震工事をしていただいたのですが、統合しないでこの先行ったときに、建て直しということは現時点で無いのでしょうか。

(回答)

三芳小学校、中学校については考えていません。

2 このままの建物で、ずっとでしょうか。

(回答)

このままがどれだけ続くか、というのはまた別問題ですが、当面この校舎、あるいは中学校の校舎でいこうという判断になっています。

3 小学校で毎回話が出るのですが、他所の地区はスクールバスが多様化していますが、三芳地区の場合はスクールバスの多様化が全然進んでいないと思います。三芳地区もスクールバスを補充して、できる限り子どもたちの安全が守られるよう検討してもらえないでしょうか。

(回答)

検討をいたします。

4 医療センターにつながるバイパスになってから、とにかく危ないです。歩道の無いところを車がすごく飛ばしており、そこを通学している。そういうことを加味して、保護者が納得するようなスクールバスの運用を検討してもらえないでしょうか。

(回答)

皆様が納得していただけるような検討をし、結論を出したいと思います。

5 子どもたちのことなので、スクールバス運営はなるべく早めに結論を出していただきたい。

(回答)

通学支援という形になりますが、学校再編を機会に皆様で御検討いただいた新しいルールを適用しています。

三芳地区は、現三芳小学校が統合した際、距離に関係なく旧小学校の学区でスクールバスのルールを決めたようです。そのため、近い子どもがスクールバスに乗っているが、遠い子どもが乗っていないという現状になっています。教育委員会としても、何とかしなければいけないと考えており、皆様と相談をさせてもらい、具体化していきたいと思います。

6 三芳地区で一番交通量の多い場所が三芳病院のところの交差点で、朝はガソリンスタンドの先までつながっている状況です。それを避けるために、子ども園の横を抜けており、交通事故も起きています。距離に関係なく結構危険な状態であり、ここだけ特別というのは難しいかと思いますが、そういう状況も含めて検討できないのでしょうか。

(回答)

スクールバスを走らせている学校の子どもは、体力的に落ちてくるという話もあり、課題の一つになっています。そういうことを問題としている地域の方々もいますので、それらを含めて検討しなければいけないと思います。

7 今日、再編を始めるという話では無く少し安心したと同時に、恐らく10年後くらいにもう一度考えなければいけない時期が来ると思っています。その時、三芳地区は分散する可能性が高いのかなと考えると、今から我々は真剣に再編について考えることをしないといけないと思います。

富浦と富山の再編検討委員会の議事録を読ませていただくと、皆様子どもたちのためと仰っております。誰もがそう思っているとは思いますが、これだけ価値観が多様化している現代において、子どもたちのためってというのは、親のエゴを押し付けている可能性が高いのかなという気がします。

私も子どものためとは思いますが、教員の方々の意見をお聞きしたいです。どういう規模の学校だったら働きやすいとか、日中子どもたちを見ている先生方にしか分からない部分も多いと思います。教育委員会が出されている再編計画がイコール教員の方々の意向であれば問題ないかなと思いますが、先生方が勤務したいって思ってもらえるような学校再編も子どもたちのために限りなくイコールになるのかと感じました。

それと学校の教員配置のルールがあると思いますが、我々は全くそれを知りません。それを知らず、我々はどうしても感情論で再編したくないと言ってしまいます。我々住民がルールを知ることが大事かなと感じました。

(回答)

小学校の再編で何を基準にしているかというのと、複式学級というものがあります。二つの学年で合わせて16人以下になると、二つの学年が一つの教室で勉強するようになります。例として、3年生と4年生の場合、教員は一人で、一つの教室を衝立で分け、3年生を教えているときは4年生には課題を出しておく。説明が終わったら課題を出し、今度は4年生の指導に入る。これが一般的な複式学級のスタイルになります。小学校の教員の配置は、基本的に学級数プラス一人です。そのため、校長、教頭、教務主任と学級担任6人となります。複式になった場合、学級数プラス一人ですので、6人となります。複式の学校がどういう対応をしているかというのと、プラスされた教員を使って全員担任にします。そうすると残っているのは校長と教頭となり、誰かが会議、あるいは年休を取ると校長や教頭がその教室へ行って見ることとなります。子どもが直接的には大変なことに

なるわけではありませんが、教員が窮屈な思いをするようになりますので、複式学級は避けたいと思っています。

中学校は厳しい状況で、三芳中学校の場合、通常学級が3、特別支援学級が2で5学級です。教員の配置は、5学級プラス5人で10人となります。中学校は9教科で10人配置されますので、例えば、国語の教員が一人の場合、その一人の教員が1年、2年、3年全部を持たなければならず、試験問題も一人で3学年分作成しなければいけなくなります。二人いれば手分けができ、切磋琢磨もできます。そのため、教員の配置はできるだけ多くした方が良いというのが基本的な考えです。南房総市だけではないですが、美術や技術・家庭科など、教科担任講師として、その時間だけ学校にくる先生にやっていただいています。授業のとき以外は学校にいません。ですので、そういうものを考えていくのが学校にとっても、校長や教頭、先生方にとっても良い状況だと思っています。

- 8 小規模校の方がよりこまめに見てもらえると思いがちだと思います。先日の一般質問を聞いていても、我々が知らないことが多すぎて、知らないが故に感情的に言っている部分が多いと思います。

(回答)

付け加えますと、三芳地区は分かれるのではないかとの話が出ましたが、令和17年度になると、南房総市ができて30年の年になります。南房総市の子どもとして生まれた子が30歳になっていて、もしかするとその子どもが父親、母親になっている年度です。この時期になって、まだ旧町村にこだわっている雰囲気があるのか、無くなっているのかその辺も読み切れなと思っています。そういう意味からも、もう少し様子を見た方が良いでしょうと思っています。

9 館山の中学校で部活動が任意になったようです。部活に入らないでそのまま帰る子も多いと聞きます。南房総市は今、言い方が悪いですが、強制ですよ。

(回答)

学校によって違います。嶺南中学校は任意です。

10 三芳中のルールと嶺南中のルールも違う。どうして南房総市内で統一されていないのか。

(回答)

校長には、決められたとおり、マニュアル通りにやってもらおうということは考えておりません。

11 学校独自のオリジナリティを出しているわけですか。

(回答)

校長や先生方で話し合っ、その地区、子どもたちにあった教育を各学校で判断してもらうようにしています。

12 例えばですけど、子どもが「もうちょっと部活頑張りたいんだよ」ってなったときに、それはどこに提案をしたら良いのですか。校長、教頭に提案をするのか、それとも教育委員会さんに提案をして良いのか。

(回答)

一義的には校長と話をするのが良いと思います。

13 そこで駄目と言われたら、もう駄目ということなのですか。

(回答)

駄目というか、議論を尽くしてもらいたい。

14 校長先生とか教頭先生に投げて議論してもらって、その回答をもらうということですか。

(回答)

3. 1 1 (東日本大震災)の際、ある校長から電話来ました。「どうしたら良いですか」と。その時、電話が通じたから良いけど、電話が通じなかったらどうすんだと思い、校長にいろいろなことを判断するような日常をやらしてもらわなければいけない。子どもたちの将来とか命を預かっているわけですから、一番身近にいる校長が真剣に一つずつ、先生方と相談しながら判断していくという体制にしなければいけないと思っています。

それに付随し、校長の一つの学校での年数を、館山市や鴨川市より長くしています。2年程度ですと、どうしても自分の責任が無く、あっという間に終わってしまいます。現校長も4年程度やるつもりで、どういうふうにしていこうということを真剣に考えていると思います。校長が主体的に動いていかないと、子どもたちも決して主体的にはならないのではと考えています。

15 他所が良くて、こちらが良くないというのがあるのかが知りたいです。

(回答)

例えば、あちらの学校とこちらの学校が同じだと選択の余地が無いですね。余計なお世話になりますが、館山市のことで懸念しているのは、中学校を1校にするとほかに選択肢が無くなってしまうことです。そこに行きたくない子がいた場合、南房総市にくることを検討しますが、条件を満たさないと認めません。そうすると君津を検討する。そういう状況は作りたくないのも中学校も2校か3校があって、それぞれ特色があり、それに合わせて選択できるというようにした方が良いのかなと思っています。ですので、是非皆様のお考えがあれば校長のところへ行ってもらいたいです。

16 いろいろ言っては来ましたが。今後そういう話が周りから出てくれば、また校長先生に振りますので、御検討いただければと思います。

(回答)

卒業式のかたちも今年は違いました。教育委員会を呼ばなかったところや市議を呼ばなかったところもあります。教育委員会で統一しろとの話もありましたが、先ほどお話したように、学校の判断に任せていると説明しています。ただ、そうした理由を納得できるように説明できなければいけないとも思っています。いろいろお世話になっていますが、こういう理由から、卒業式はおいでいただきませんということで納得させるのも学校の仕事だと思っています。PTAさんが話に来たとき、PTAさんの考えは分かったが、こういう考えですと納得できるように説明するのが校長、教頭の仕事だと思っています。

17 人数が減ってきてもうどうしようもないという状況ならばともかく、学校側はちゃんと子どもたちの面倒を見て運営できている状況です。現状、総会等でも何かあるということは無く、特に問題ないのかと思っています。

家の近くに新しく12棟建つ予定です。その裏でも水道管の工事をやっていて、同規模で更に2ヵ所となり、36棟は増えると思います。ほかにも明石地区にも話があります。現状の子どもの数変わらないかと思っていますので、その時になってからまた検討いただければと思います。その時の会長から、学校を通して話があるかと思っていますので、その際はまた御検討いただければと思います。

(回答)

今日御理解いただきたいのは、決して、三芳のことを見捨ててはいない。十分に考えています、それは御理解いただければ有り難いと思います。

18 三芳地区は20年単位でほとんど減っていないですね。

(回答)

他地区と比べると、減り方は少ないです。